

西小学校だより

令和6年度の合言葉は「チャレンジ!」です。

令和6年度
十日町市立西小学校

No. 18
令和7年2月3日

親善スキー大会。

1月25日 親善スキー大会（10位以内入賞）

種目	順位	記録	氏名
6年男子3km	1位	12分37秒5	
	7位	14分54秒8	
6年女子3km	5位	16分07秒9	
5年男子3km	10位	20分42秒1	
5年女子3km	4位	17分37秒0	
	5位	17分57秒7	
男子3×2kmリレー	1位	28分43秒0	
女子3×2kmリレー	5位	36分12秒2	

種目	順位	記録	氏名
6年男子1km	1位	4分29秒8	
	10位	5分18秒3	
6年女子1km	7位	5分26秒0	
5年男子1km	2位	5分02秒1	
	3位	5分02秒2	
	4位	5分02秒9	
	10位	5分25秒0	
5年女子1km	1位	5分13秒1	
	6位	5分26秒3	

当日はたくさんの保護者の皆様から応援に駆けつけていただきました。ありがとうございました。皆様の応援により、子どもたちは頑張れました。子どもたちはそれぞれ自分の課題に向けてチャレンジし、その子なりに勇気をもって立ち向かい、たくさんの学びを得た一日になりました。

あおばスキークラブの皆様方からは、早朝よりワクシングや子どもたちのサポートに、多大なるお力添えを賜りました。日頃、学校職員ではなかなかできない専門的な指導やワックスの調整などを、子どもたちにしていただいています。それでも、いつも子どものことと学校のことを最優先に考えてくださり、子どもたちと学校を支えてくださっています。ありがたいです。ありがとうございます。本当にありがとうございます。

以前、あおばスキークラブの懇親会に参加させていただきました。その時、あるコーチの方が、大人たちに向けてこんなお話をされていました。「いいかお前たち！あおばの大人は、自分の子を応援するんじゃないんだ！人んちの子を本気で支えるんだ！分かったか！」この言葉に感動して涙するお母さん方がたくさんいらっしゃいました。これがあおばスキークラブの本質なんだと思いました。実際、高橋会長様をはじめ、子どもが卒業した後も西小キッズを支えてくださっている方々が、あおばスキークラブには本当にたくさんいらっしゃいます。西小の子どもをきっかけにした、保護者と地域のステキなつながりのようなものを感じます。あれ？これってまさに、「コミュニティ・スクール」の理想なのでは？あおば最高。👍

応援賞、(勝手に)西小。(陸上大会に続き、勝手に2連覇。)

西小キッズはリレーの応援で、他校のチームにも精一杯励ましの声をかけていました。西小チームがゴールした後も、西小キッズ集団のあたりからは、他の学校への声援が聞こえてきます。西小キッズは、まだまだコース上で頑張っているほかの学校の選手を必死で応援していました。やっぱりこの子たちはこういう「頑張っている人を支えること」が上手な子たちです。その「心地よさ」を知っているからです。



それは、手前味噌ですが、うちの職員が、運動会やマラソン大会や陸上大会や文化祭やスキー大会などの「子どもたちにちょっと負荷がかかるイベント」に向けて、子どもたちの「気持ちをつくる」天才たちだからです。子どもたちの「ちょこっと勇氣」を引き出すように声をかけ、励まし、頑張らせちゃう天才たちだからです。なんなら、そこにこそ最も心を砕いています。そして、最後には必ず何らかの学びを子どもたちが得られるように仕向けます。職人集団です。

そして、まんまとそれに応える子どもたち。 西小最高。👍

「校長先生、聞いてくださいよ！」

廊下を歩いていると、5年生の少年が私に訴えてきました。

「校長先生、聞いてくださいよ！ オレの友達の〇〇ちゃんと△△くんが、こないだ下校中に、道にごみが落ちていたのを拾って、持ち帰ったんですよ。すごくないですか？」

ゴミを拾った〇〇ちゃんと△△くんはとってもすごい。

そして、それを俺に教えてくれたあんたもすごいよ。

西小最高。👍

【おまけ】

先日、「学校評価会議」という、職員の話し合いを行いました。児童アンケートでも保護者アンケートでも、「メディアコントロール」が課題であることが浮き彫りになりました。そして、職員の間で「子どもたちの生活リズムを整える上で『睡眠時間の確保』が課題ですね。」ってな話題になっていました。私はそうした真剣な議論を聞きながら「休め西小、寝れ、深く！」と心の中でつぶやき、我ながらうまいこと思いついたと、一人でニヤニヤしてました。